



学びのホームグラウンドじんけん楽習塾



OYAOYA 通信

ひと 人権を「他人ごと」から「自分ごと」へ

5月17日1回目の報告



今年度1回目のファシリテーターは毎年恒例の森実さんです。「地球社会はどうなっていく? どうしていく? ~SDGsを学ぼう!~」がテーマでした。

2015年、ニューヨーク国連本部において、150の国の参加のもと「国連持続可能な開発サミット」が開催され、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（*行動計画みたいな）」が採択されました。アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

まず、去年1年社会に対してやってきたことを青色のフセんに、できればやりたいことを黄色のフセんに書いてみます。それを壁などに張り出されたSDGsの17項目がかかれた模造紙に分類していきます。17項目は以下のものです。

- 1. 貧困をなくそう / 2. 飢餓をゼロに / 3. 全ての人に健康と福祉を / 4. 質の高い教育をみんなに / 5. ジェンダー平等を実現しよう / 6. 安全な水とトイレを世界中に / 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに / 8. 働きがいも経済成長も / 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう / 10. 人や国の不平等をなくそう / 11. 住み続けられるまちづくりを / 12.



- つくる責任つかう責任 / 13. 気候変動に具体的な対策を / 14. 海の豊かさを守ろう / 15. 陸の豊かさを守ろう / 16. 平和と公正をすべての人に / 17. パートナリーシップで目標を達成しよう

4の教育の項目などはたくさんフセンが集まったのですが、2 飢餓や8 働きがい経済成長などは少なかったです。途中で「WE THE PEOPLE：グローバル・ゴールズ（持続可能な開発目標）を伝えよう」というSDGsを広めるための映像をみました。ここには メリル・ストリープさんやホーキング博士、マララ・ユスフザイさんなどの有名人も登場し、わかりやすく説明されていました。

<https://www.youtube.com/watch?v=jV5f7YZJFQg>
無力感にとられそうな時世ですが、SDGsを知る中で希望を見出したような回でした。（ぽん）



連絡

もし参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。おなががすぐ時間なのでおにぎり、パンなどの軽食はOKです。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。（公開だめなものはオープンにしません）

写真を撮影しますが、OYAOYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局にもうしつけください。

9時には終了予定ですが、どうしても延長になる場合があります。急がれる方は先に退席してください。じんけん楽習塾が終わってから、簡単な懇親会を毎回予定しています。終了時に声をかけますので、参加可能な方は会場に残ってください。お店等お知らせします。

みなさんの感想

●初めて参加しました。「人権」ということでどんなお話が聞けるのか楽しみにしておりましたが、地球社会がテーマになっており、身近な話題も多く、たくさん学ばせていただきました。



●SDGs がはじめて知れてよかったです。また、自分も SDGs のかかげている目標をすでにやれていたということが分かってよかったです。今日知れたことを参考に今後もっと自分の身近なことでやれることを増やしていきたいと思いました。

●無力感はある中にある！乗り越えられる希望をもらった気がします。以前に新聞記事を見た時に、気にはなつたけど無力感に近いものを感じました。「あきらめない、連がる、発信する」など、今やっていることから、やりたいことにつながる糸口をいただきました。

●同じ仕事をしているだろうなと思う人の意見でも、見方や今まで経験したことで分類される場所が違うと考えるとおもしろかった。自分が何をやってきたかを振り返る機会となった。多くの人の意見を聞くのはおもしろかった。持続可能というのは、大きな事ではなくて、自分がやっている身近なことをやり続けることが大切だと思う。

●自分自身が日ごろ気にかけていることでも、整理して分類していくと偏りがあるのだということに気づかされました。みんなのフセンが少ないものはその項目への意識の低さ、理科の浅さが浮き彫りになっているのがわかります。それゆえ目標達成が難しいのだと思います。そうした中でも今回の場でどの目標にもフセンが貼られたということは、個々の力は微々たるものでも無でないという期待と希望、達成への力につながるのだと感じました。

●この4月～5月で④質の高い教育を、についての「世界一大きな授業」というのをやってみました。が、他の目標についてはあまりわかってなかったです。・・・と「開発途上国」を「先進国」が「支援」しないと!! みたいところへ行ってしまうと、対等なパートナーとして解決にとりくもうという感じになかなかいかないところが見つらいところ。SDGs むずかしい。♪無力感 SDGs で 超えていく♪

●「最大の敵は無力感 これをどう乗り越えるのか」自分のやれることを精一杯やっというと思いました。

●今までなかなか学べなかったことを学べてとても良かったです。しっかり勉強して子どもたちに伝えていこうと思います。今自分がどんな世界、環境でくらしているかが改めてわかりました。

●普段やっていることが(持続可能な開発目標)に入っているとわかったら、これからも続けよう！と思えました。やりたいけれどできていないことや、やっという時時々無力感にとらわれそうなことに関しては、はげまされた気持ちです。

●久しぶりに参加してみても良かった、充実感を覚えました。ただいつも思うけど、こういう催しに関心を持たない人にかにこっちをむかせるかというとりくみを痛感する。♪他人事(ひとごと)と 思わぬ心 つなごうよ!♪

●最初答えにくくてムズかしかった。

●SDGs について何も知りませんでした、学ぶことができよかったです。身近なことに取り組んでいくことが世界をよくしていくことにつながるんだなと思いました。

●私は17の項目の中で大変偏っていたことに反省することがたくさんありました。

●貧困をなくそう、飢餓をゼロにという目標をみて、まさに、松井やよいさんの無力感という言葉が浮かんだ。いろんな人と協力して、することで少しは何かができるのかなと思った。

●課題や問題は個人によって振り分け方が違うと感じた。

●貧困飢餓についてお金のカンパとなっているのかなと思っていて同じ意見があったが他にどのようなことができるか考えていきたいです。地球を大切に思っているが、どれも大切なので他の人がどんどん実践していることがあり、自分たちにいい刺激となっている。いろいろな人の協力つながりが大切である。♪大切に この地球(ほし)の明日 未来まで♪【だいこん】

●自分が生まれてきた存在意義をかんがえさせられた。♪ままならぬ おもしろきかな じんせい♪【ハルちゃん】

●「世界」のなかで「私」ができることについて具体的に考えるよい機会でした。松井やよいさんの「私たちの最大の敵は無力感です。乗り越えることができる。一緒に乗り越えましょう」という言葉を忘れないでいたいと思います。【も】

●貧困、飢餓について優先順位が高いにもかかわらず、自分の身近な行動の中で思いつくことが少なかった。「募金」という項目が多く富の分配をしている意識が自分の中にあつたと思う。また安全な水についても、豊かな水資源を持つ日本に住む我々にとってほとんど意識していないことにも気づいた。「SDGs」の各項目が具体的な姿で現れてきたのは今日の収穫だった。【かつちゃん】

●貧困と飢餓について圧倒的にカンパだった。最も切実な命に直結する課題に対し我々のできることはささやかな富の分配をこえるものは見当たらなかった。水とトイレに関しては水の豊かな日本にいては節水程度しか思いつかない。13,14,15の環境問題はちきゅうそのものの存続という切実さがあるにもかかわらず、人権問題と大きな柱になりえていないかもしれないという気がした。全体として一個人としてやっというささやかな行動が持続可能な開発：地球の健全な未来に結びついていることがとてもうれしかった。私だっという地球市民の一人って感じはなかなか気持ちよかったです。♪私だっという こんなことなら できるもん!!♪【つっちい】

●「地球を変える」このテーマを聞くとはて大きく遠いテーマだと感じてしまいがちだが、本日の研修によって、身近にできることを継続することが大切であつて、それが合わさるととても大きな力になるのだなあと実感できました。♪微力でも みんなの力で 変えられる (続けることで)♪

【木下嗣吉】

